

特別会計の決算状況

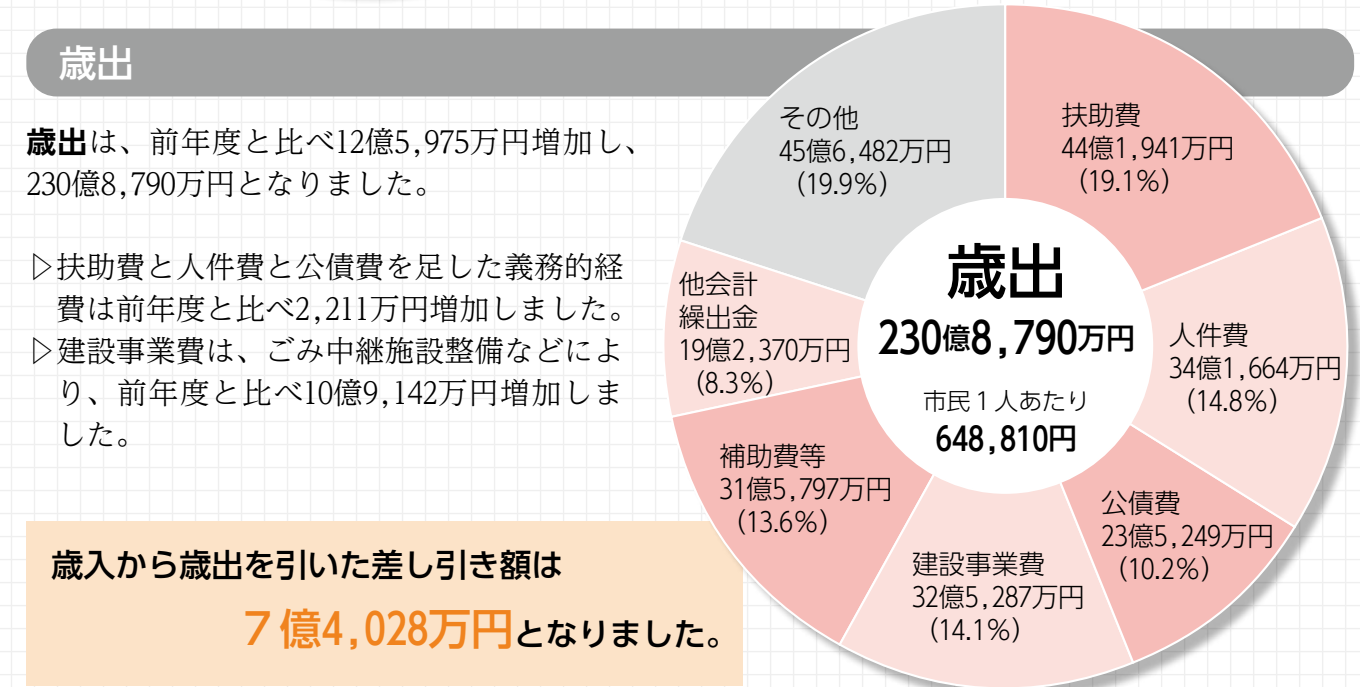
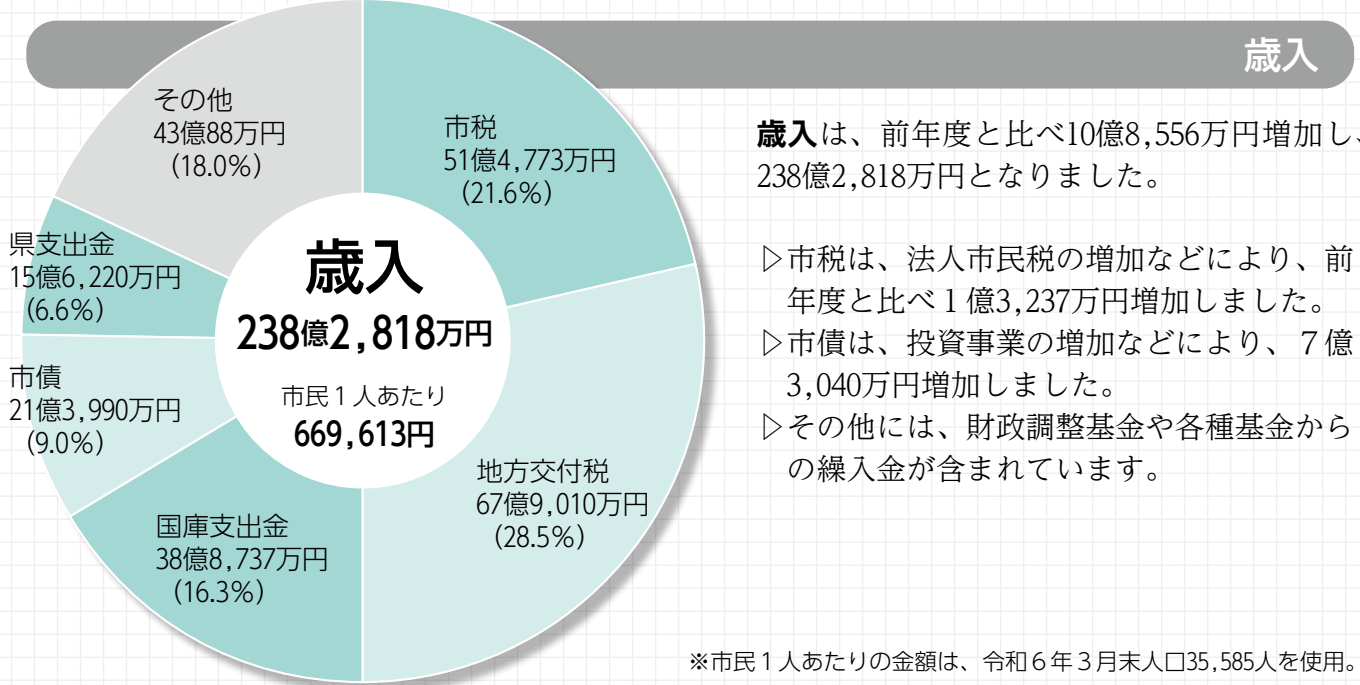
会計	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業	36億6,772万円	36億2,724万円	4,048万円
介護保険事業	55億7,648万円	55億1,516万円	6,132万円
保険事業	55億2,019万円	55億73万円	1,946万円
介護サービス事業	5,629万円	1,443万円	4,186万円
後期高齢者医療事業	7億4,831万円	7億4,642万円	189万円
病院事業債管理	3億5,502万円	3億5,502万円	0万円

企業会計の決算状況（消費税込み）

会計	区分	収入	支出	差引額
下水道事業	収益的収支	9億3,059万円	7億4,751万円	1億8,308万円
	資本的収支	10億1,113万円	14億2,433万円	△4億1,320万円
病院事業	収益的収支	11億5,537万円	12億8,896万円	△1億3,359万円
	資本的収支	9,036万円	1億1,844万円	△2,808万円

- ▷収益的収支…通常の営業活動に伴う収支
- ▷資本的収支…資産の整備に伴う収支

令和5年度一般会計の歳入・歳出決算の状況



健全化判断比率などの状況

健全化判断比率とは、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためのものです。令和5年度は全ての基準をクリアしています。また、公営企業会計（下水道事業会計、病院事業会計）の資金不足比率も公表が義務付けられていますが、全ての事業において資金不足はありません。

指標名	早期健全化基準	府中市
実質赤字比率 一般会計等の実質赤字の比率	13.07%	－（黒字）
連結実質赤字比率 全会計の実質赤字の比率	18.07%	－（黒字）
実質公債費比率 一般会計などが負担する公債費などの比率	25.0%	8.0%
将来負担比率 地方債残高などの一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の比率	350.0%	47.4%

府中市の財政状況および持続可能な財政運営に向けて

府中市の財政状況

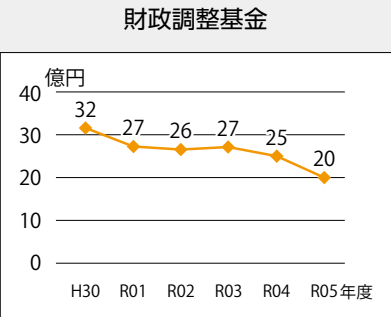
頻発する災害への対応、重点事業への積極投資など、平成30年度以降、その財源として市の貯金（財政調整基金）を取り崩す財政運営が続いており、財政調整基金残高は減少傾向となっています。このままのペースで残高が減少すると、令和8年度には財政調整基金がなくなる見込みという、極めて厳しい財政状況となっています。その場合、災害や物価高騰など不測の事態への対応が困難になり、健全な財政運営ができなくなる恐れがあります。

持続可能な財政運営に向けて

このような状況に陥らないよう、財政調整基金に頼らない、収支が均衡した財政構造への転換を図ることが急務であり、

- ①大型投資事業の廃止・凍結
- ②事業見直し
- ③事務事業の効率化
- ④歳入確保の継続的取り組み

を対策の柱とした、計画的で持続可能な財政運営を行うための抜本的な取り組みを行っていきます。



上記グラフの説明

令和5年度末の財政調整基金は、令和5年度一般会計の歳入・歳出決算に伴う取り崩しや積み立て、剰余金処分を行った結果、5億1,836万円減少しました。